

## 国語 解答・解説 第二回

正解と解説を確認してください

本演習は大学入学共通テストの過去問をもとに作成した類題です。問題文の量は過去問の約2分の1です。

### 第一問 対話文（PTA草取り分担）

問一 正解：①

会長の冒頭発言「担当エリアの割り振りを決めたい」が目的を明示しています。

問二 正解：①

「先生から聞きました」と明記されており、先生からの情報が根拠です。

問三 正解：①

高橋さんは「資料を見ると」と明示。草の繁茂状況マップを根拠としています。

問四 正解：①

参加者は学年代表六名。二か所に分けるには三名ずつが均等です。

問五 正解：③

「高学年は運動場を使う頻度が高い」と林さん自身が述べています。

問六 正解：①

木村会長の最後の発言「校庭担当を一・二・三年、運動場担当を四・五・六年」が最終案です。

## 第二問 現代文（科学と自然）

---

問一 正解：①

直後の「同じ条件のもとでは必ず同じ結果が出る」という説明が根拠です。

問二 正解：②

再現性があっても自然の複雑さは変わらない、ということです。

問三 正解：①

問いかけ方が適切でなければ、意味のある結果が得られないという比喩的表現です。

問四 正解：③

末尾に「より良い問いかけ方を学んでゆく歴史」と明示されています。

### 第三問 古文（枕草子 第一段）

---

問一 正解：①

「やうやう」は「だんだんと・しだいに」の意。夜明けの空が徐々に明るくなる様子を表します。

問二 正解：②

「闇もなほ（暗い夜もやはりよい）」という意味です。

問三 正解：③

古語「をかし」は「趣がある・風情がある・興味深い」の意。

問四 正解：①

「烏の寝所へ行くとて…飛び急ぐさへあはれなり」と明記されています。

#### 【全文現代語訳】 枕草子 第一段

【現代語訳】春はあけぼのがよい。だんだんと白くなっていく山の稜線あたりが、少し明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいている（のがよい）。夏は夜がよい。月の頃はいうまでもなく、（月のない）闇夜もやはりよい。蛍が多く飛び交っているのもよい。秋は夕暮れがよい。夕日が差して山の稜線にとても近くなったところに、烏が寝どころへ行こうとして、三つ四つ、二つ三つなどと飛び急いでいく様子さえしみじみと趣深い。

#### 第四問 漢文（孟子 梁惠王章句上）

---

問一 正解：③

「仁ナル者」は「仁なる者」。「仁」は漢音で「じん」。「じんなる」が正しい読みです。

問二 正解：③

「所+動詞」は「～するところのもの・人」という構文。「所愛」＝「愛しているもの（人）」。

問三 正解：①

「何」は疑問詞・「謂」は「いふ」・「也」は疑問の助字「や」。「何をか謂ふや」が正しい書き下しです。

#### 【書き下し文と現代語訳】 孟子 梁惠王章句上

【書き下し文】 孟子の曰はく、「仁なる者は其の愛する所を以て其の愛せざる所に及ぼす。仁ならざる者は其の愛せざる所を以て其の愛する所に及ぼす。」公孫丑の問はく、「何をか謂ふや。」孟子の曰はく、「仁なる者は人を愛す。」

【現代語訳】 孟子がおっしゃった。「仁のある人は、自分が愛しているものへの愛情を、愛していないものにまで及ぼす。仁のない人は、自分が愛していないものへの（冷たい）態度を、愛しているものにまで及ぼしてしまう。」公孫丑が尋ねた。「どういことですか。」孟子がおっしゃった。「仁のある人は、人を愛するのです。」

## 漢字問題

---

問一 正解：①

「模範」はもはん。手本・見習うべき例。

問二 正解：①

「緻密」はちみつ。細かく精巧な様子。

問三 正解：①

「憩う」はいこう。休む・くつろぐ。「いこっていた」が正しい読みです。

問四 正解：①

「繁栄」ははんえい。栄えること・にぎわうこと。

問五 正解：①

「穏やか」はおだやか。静かで落ち着いている様子。

問六 正解：①

「的確」は正確で的を射ていること。②「適格」は資格に適うことで別の意味です。

問七 正解：①

「解決」は問題を解き決めること。

問八 正解：①

「独創」は他に頼らず自分で新しいものを生み出すこと。

問九 正解：①

「通じる」はつながる・理解されるの意。

問十 正解：⑤

「勤儉」は勤勉で儉約な様子。①「勤勉」は読みが「きんべん」で異なります。